

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【公開番号】特開2019-128596(P2019-128596A)

【公開日】令和1年8月1日(2019.8.1)

【年通号数】公開・登録公報2019-031

【出願番号】特願2019-6000(P2019-6000)

【国際特許分類】

G 02 B 1/04 (2006.01)

G 02 C 7/00 (2006.01)

C 08 G 18/38 (2006.01)

【F I】

G 02 B 1/04

G 02 C 7/00

C 08 G 18/38 0 5 5

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年8月13日(2019.8.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水素結合可能な官能基として少なくとも4のメルカプト基のみを有する第1のポリチオール化合物と、水素結合可能な官能基として少なくとも2のメルカプト基およびメルカブト基以外の少なくとも1の水素結合可能な官能基を有する第2のポリチオール化合物とを含む、ポリチオール組成物であって、

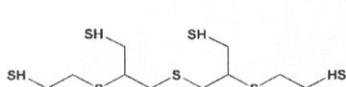
前記第1のポリチオール化合物は、下記の式1、2または3で表される化合物であり、

前記第2のポリチオール化合物は、下記の式4または5で表される化合物であり、

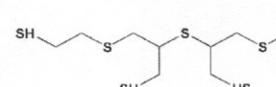
前記ポリチオール組成物は、前記ポリチオール組成物の総重量に基づいて、前記第1のポリチオール化合物を55ないし99.5重量%の量で、および前記第2のポリチオール化合物を0.5ないし45重量%の量で含む、ポリチオール組成物。

【化1】

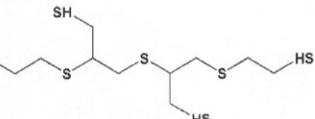
[式1]



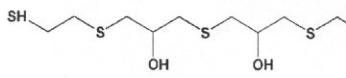
[式2]



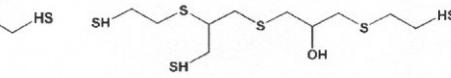
[式3]



[式4]



[式5]



【請求項2】

前記ポリチオール組成物の総重量に基づいて、前記第2のポリチオール化合物を0.5ないし12重量%の量で含む、請求項1に記載のポリチオール組成物。

【請求項3】

前記第2のポリチオール化合物は、前記第2のポリチオール化合物の総モル量に基づい

て、酸素原子を 0 . 1 ないし 1 5 モル % の量で含む、請求項 1 に記載のポリチオール組成物。

【請求項 4】

第 1 のポリチオール化合物および第 2 のポリチオール化合物を含むポリチオール組成物と、ポリイソシアネート化合物とを含む、重合性組成物であって、

前記第 1 のポリチオール化合物は、水素結合可能な官能基として少なくとも 4 のメルカプト基のみを有し、

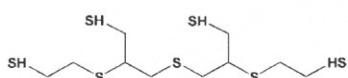
前記第 2 のポリチオール化合物は、水素結合可能な官能基として少なくとも 2 のメルカプト基およびメルカプト基以外の少なくとも 1 の水素結合可能な官能基を有し、

前記第 1 のポリチオール化合物は、下記の式 1、2 または 3 で表される化合物であり、前記第 2 のポリチオール化合物は、下記の式 4 または 5 で表される化合物であり、

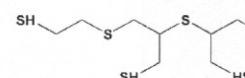
前記ポリチオール組成物は、前記ポリチオール組成物の総重量に基づいて、前記第 1 のポリチオール化合物を 5 5 ないし 9 9 . 5 重量 % の量で、および前記第 2 のポリチオール化合物を 0 . 5 ないし 4 5 重量 % の量で含む、重合性組成物。

【化 2】

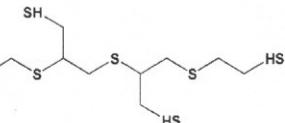
[式1]



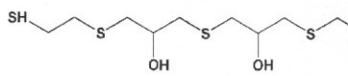
[式2]



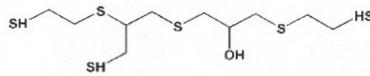
[式3]



[式4]



[式5]



【請求項 5】

さらに重合触媒を含み、

下記式 1 による前記重合性組成物の粘度の変化 (D) が 0 . 1 4 ないし 0 . 2 6 である、請求項 4 に記載の重合性組成物。

[式 1]

$$L_n Y = L_n A + D X$$

上記式において、X は時間 (h r) であり、Y は時間に対する 1 0 での重合性組成物の粘度 (c p s) であり、A は 1 0 での重合性組成物の初期粘度である。

【請求項 6】

前記ポリイソシアネート化合物は、1 , 3 - ビス (イソシアナトメチル) シクロヘキサン、ヘキサメチレンジイソシアネート、イソホロンジイソシアネート、m - キシレンジイソシアネート、トルエンジイソシアネート、およびこれらの混合物からなる群より選択される、請求項 4 に記載の重合性組成物。

【請求項 7】

第 1 のポリチオール化合物および第 2 のポリチオール化合物を含むポリチオール組成物とポリイソシアネート化合物とを含む重合性組成物を硬化させることによって形成されたポリチオウレタン系樹脂を含む、光学レンズであって、

前記第 1 のポリチオール化合物は、水素結合可能な官能基として少なくとも 4 のメルカプト基のみを有し、

前記第 2 のポリチオール化合物は、水素結合可能な官能基として少なくとも 2 のメルカプト基およびメルカプト基以外の少なくとも 1 の水素結合可能な官能基を有し、

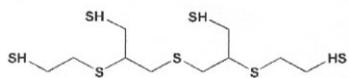
前記第 1 のポリチオール化合物は、下記の式 1、2 または 3 で表される化合物であり、

前記第 2 のポリチオール化合物は、下記の式 4 または 5 で表される化合物であり、

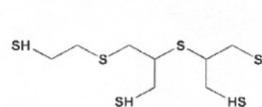
前記ポリチオール組成物は、前記ポリチオール組成物の総重量に基づいて、前記第 1 のポリチオール化合物を 5 5 ないし 9 9 . 5 重量 % の量で、および前記第 2 のポリチオール化合物を 0 . 5 ないし 4 5 重量 % の量で含む、光学レンズ。

【化3】

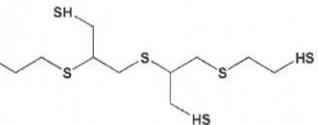
[式1]



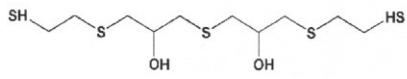
[式2]



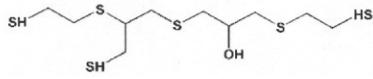
[式3]



[式4]



[式5]



【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0076

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0076】

上記の反応の結果、412.6 g の、主成分として上記の式5で表されるポリチオール化合物を含むポリチオール組成物を得た。こうして得た組成物の絶対検量線法による分析の結果、こうして得たポリチオール組成物は、62重量%の式5で表されるポリチオール化合物（第2のポリチオール化合物）、17重量%の式4で表されるポリチオール化合物（第2のポリチオール化合物）、20重量%の式1ないし3で表されるポリチオール化合物（第1のポリチオール化合物）、および1重量%の式1ないし5以外のオリゴマー化合物を含んでいた。